

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX: 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

2学期の始まりにあたって

～優しさと厳しさと～

今年7月、アメリカ野球殿堂入りを果たしたイチローさんが、インタビューに答えた中で、印象に残った言葉を紹介します。

イチローさんにとっての野球における一番の思い出は？

「何か困難なことが現れたときは、高校の寮生活を思い出すことが多いです。いろいろ大変なこと、もちろんプロ野球選手になると、それはただ好きではやってられないですから、やっていけないです



から。子どものようなまっすぐな気持ちで、野球にこう没頭できるかといったら、全くそんなことはないです。チームメイトとの関係とかもいろいろあります。そんな時に支えになったのは、やっぱり高校時代の寮生活です。この経験は、進められないし、今もちろんこの時代にできるわけでもないんですけど、人にとってこう、社会人になったら、当然、責任が生まれて、基本的にはうまくいかないことの方が多いと思うんですね。で、たまにうまくいくから、モチベーションが上がる。で、また挫折して、そこに向かっていく、そんな時に支えがない人はどうやってその先を歩んでいくんだろうかと考えた時に、一定世代以下ですね、これは。周りがみんな優しくて、ご両親もみんな優しい。先生たち、指導者たち、みんな優しい。これは社会人になって、その壁にぶつかったときに、どうやってそれを乗り越えていくんだろうか。」

いま、学校は2学期が始まったばかりです。夏休みの解放感から切り替えて、学習と学校生活に集中する大切な時期です。教室では、児童生徒の成長を支えるために、優しさと厳しさをバランスよく持ち合わせた指導が教師に求められます。

長い夏休み明けで、生活リズムや気持ちの切り替えが難しい子どもたちがいます。子ども一人一人の状況を理解し、寄り添う姿勢が大切です。そして、子どもの小さな成長も見逃さず、褒めることで、子どものモチベーションを高めていきましょう。

一方で、夏休みの生活リズムから学習習慣を取り戻すため、時間できちんと動く等メリハリのある指導が大切です。そして、誰もが安心して過ごせる教室環境を整えるために、守るべきルールやマナーは、きちんと守らせる毅然とした態度が大切ではないでしょうか。